



分からないときは
先生に尋ねよう。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 ボランティア団体に加入する。
- 2 番組を録画する。
- 3 家庭菜園を楽しむ。
- 4 品種を改良する。
- 5 国家の富強に努める。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 国がさかえる。
- 2 きせつの変化を楽しむ。
- 3 ねんがの客が来る。
- 4 美しいけしきをながめる。
- 5 焼いた肉を野菜でつつむ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「加」は音読みだよ。
- 2 「録」は「録音」と同じ読みだよ。
- 3 「菜」は「野菜」と同じ読みだよ。
- 4 「品種改良」という言葉は社会科でも習うよ。
- 5 「豊富」は「ふ」と読むけど、「貧富」は「ふ」とは少しちがうよ。
- Ⅱ 1 「えいさう」「えいよう」の「えい」は「ちかえる」の音読みだよ。
- 2 「きせつ」の「き」は「気」ではないよ。「せつ」は「せつふん」の「せつ」だよ。
- 3 「が」という字は「加」と「良」の組み合わせだよ。
- 4 「けしき」の「け」は、「ふうけい」の「けい」、「しき」の訓読みは「いる」だよ。
- 5 「小づつみ」や「つづみ紙」と同じ漢字だよ。



かなをいっしょ
にしよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 愛着があるぬいぐるみ。
- 2 家の裏に倉庫がある。
- 3 各自でメモをとる。
- 4 有名人と名を連ねる。
- 5 具体的な事例を挙げる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 シカのむれが山に向かっている。
- 2 げんじゅうにかなりする。
- 3 次のしゅくじつに友達と会う。
- 4 かれにはんせいをうながす。
- 5 ご飯にはお茶をかかすことができない。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「着」は「着陸」と同じ読みだよ。 2 「倉」は「くら」と読んではいけないよ。
 3 「各」は「各地」と同じ読みだよ。 4 「山が連なる」と同じ読みだよ。
 5 「事」は「こと」と読んではいけないよ。
- 二 1 「山田くん」の「くん」と「ひつじ」という字の組み合わせだよ。
 2 「かん」と同じ部分がある漢字は、「官」や「館」だよ。
 3 「しゅく」は「いっしょ」という漢字だよ。
 4 「せい」は「しよう」とも読み、たとえば「文部科学しよう」と使うよ。
 5 「げんせき」の「げん」と同じ漢字だよ。



かながなときま
へんとを覚よう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 たん生日の記念に写真をとる。
- 2 茨の道を進む。
- 3 佐賀県の名産品を買う。
- 4 植物の生長を観察する。
- 5 手を挙げて発表する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 話し合いのぎだいを決める。
- 2 炭火で魚をやく。
- 3 友達の言葉をしんじる。
- 4 話のようてんをとらえて黒板に書く。
- 5 図書館で本をかりる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「記」は「記号」と、「念」は「信念」と同じ読みだよ。
- 2 関東地方にある「茨城県」と同じ読みだよ。
- 3 九州地方の県だよ。
- 4 夏休みに「アサガオの観察」をするよね。
- 5 「先生、あてて。」と思うことがあるよね。「上げる」と同じように読むよ。
- 二 1 「かいぎ」の「ぎ」、「だいめい」の「だい」と同じ漢字だよ。
- 2 火を使うので、部首は「ひへん」だよ。
- 3 部首は「にんべん」、つくりは「いう」という漢字だよ。
- 4 「よう」は大切という意味で、「ようやく」にも使われるよ。
- 5 部首は「にんべん」、つくりは「むかし」という漢字だよ。



分らないときも
ヒントを尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 なわとびの特訓をする。
- 2 昔の井戸を発見する。
- 3 五字以上、十字未満。
- 4 かばんに荷札をつける。
- 5 毎朝六時に目を覚ます。

1	
2	
3	
4	
5	

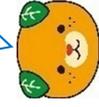
Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 料理をこころみる。
- 2 人と自然のかんけい。
- 3 種からめが出る。
- 4 映画をみてわらう。
- 5 交差点をうせつする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「学校」は「がっこう」とつまって読むよね。
- 2 「いと」とは読まないよね。
- 3 「未」は下の言葉を打ち消すよ。完成していないことを「未完成」と言うね。
- 4 「荷」は「荷物」、「札」は「名札」と同じ読みだよ。
- 5 「ねむりから覚める」とも言うよ。
- Ⅱ 1 「こころみる」は訓読みだよ。音読みは「しけん」の「し」だよ。
- 2 「かん」の部首は「もんがまえ」、「けい」は「かかり」と同じ漢字だよ。
- 3 植物にかんけいするから、部首は「くさかんむり」だよ。
- 4 「竹」と「犬」を組み合わせてできた漢字だよ。ただし、どちらも形が変わるよ。
- 5 「うせつ」は「みぎに曲がること」だよ。



ねが**ん**ぼ**っ**てい**る**
ねが**ん**ぼ**っ**てい**る**

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 体によい大豆を**食**べる。
- 2 **合**唱の大会に出る。
- 3 **貨**物列車で運ぶ。
- 4 会長を**投**票で決める。
- 5 **労**働時間が長い。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 金属を加工する**き**か**い**を**買**う。
- 2 長年の**き**ほ**う**を**か**な**え**る。
- 3 **けん**め**い**に**ど**り**よ**く**す**る。
- 4 才能に**と**む**人**。
- 5 **けん**こ**う**が**い**ち**ぼ**ん**大**切**だ**。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「豆」には、「まめ」、「とう」、「〇」といろいろな読みがあるよ。
- 2 「合」は「合体」、「唱」は「唱歌」と同じ読みだよ。
- 3 「貨物」の「貨」が使われているよ。「物」は「もの」と読まないでね。
- 4 「票」に「木」をつけると「標」となり、どちらも同じ音読みだよ。
- 5 「労」は「苦勞」と同じ読みだよ。
- 二 1 「き」も「かい」も「きくん」の漢字だよ。
- 2 「き」も「ほう」も、「のぞみ」という意味をもっているよ。
- 3 「ど」の訓読みは「つとめる」だよ。
- 4 「と(む)」は「富士山」の「ふ」という字だよ。
- 5 毎朝しているよね、「けんこう観察」。



かなをひらき
へんごをまねよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 協定を結ぶ。
- 2 赤みを帯びた色になる。
- 3 国語辞典で調べる。
- 4 めずらしいチヨウが飛来する。
- 5 日照時間が長くなる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 お米のはいきゅうがある。
- 2 さんか者をつのる。
- 3 地図でいちを調べる。
- 4 右か左かをえらぶ。
- 5 赤ちゃんが大きな声でなく。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「協」は「協力」と、「定」は「決定」と同じ読みだよ。
- 2 「帯」の訓読みと似た読みだよ。
- 3 「漢字辞典」もあるよ。「古典」の「典」と同じだね。
- 4 「飛行」、「未来」と同じ読みだよ。
- 5 「照」は「照明」と同じ読みだよ。
- 二 1 「はいたつ」の「はい」、「きゅうしょく」の「きゅう」と同じ漢字だよ。
- 2 「さんかんび」の「さん」と同じ漢字だよ。
- 3 「い」の訓読みは「くらい」、「ち」の訓読みは「おく」だよ。
- 4 「せん手」の「せん」と同じ漢字だよ。
- 5 「さんずい」と「たつ」の組み合わせだよ。



かなをいじまき
へんとうをいじまき

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 物事を客観的に見る。
- 2 極地に出かける。
- 3 曲芸をひろうする。
- 4 古くから伝わる食べ物。
- 5 大きな期待をよせる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 円のちよつけいを求める。
- 2 信用をうしなう。
- 3 えひめ県に生まれる。
- 4 研究所のきょうかんに学ぶ。
- 5 全員のせいとの前で話をする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「客」は「きやく」の読みが変化するよ。「観」は「観察」と同じ読みだよ。
- 2 「極」は「南極」と同じ読みだよ。
- 3 「作曲」、「園芸」と同じ読みだよ。
- 4 「伝わる」は「つ○わる」と読むよ。
- 5 「待」は「自宅待機」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ちよく線」の「ちよく」と同じ、「けい」は「きょうにんぐにん」の漢字だよ。
- 2 「矢」と似ているから気をつけてね。
- 3 みきやんの生まれた県だよ。
- 4 「共感」とまちがわないでね。
- 5 中学校に通うのが「せいと」だよ。「と」は「きょうにんぐにん」に「は・しる」と書くよ。



袋をいじまき
(い)と 煮まき。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 作家を副業とする。
- 2 初秋の風を感じる。
- 3 国を治める。
- 4 必ずお茶を飲む。
- 5 強固な考えをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

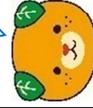
二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 日光をあびる。
- 2 読書をあいこうする。
- 3 ぶどうのたね。
- 4 たんしんで海外に行く。
- 5 鳥のすを見つける。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「副」と「福」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 2 「秋」は「あき」と読んではいけないよ。
- 3 「収める」、「修める」も同じ読みだよ。
- 4 「必ず」は「か〇〇ず」と読むよ。
- 5 「固」と「古」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 二 1 「さんずい」に「たに」を書くよ。
- 2 「あいこう」とは、「そのことをすきになり、親しむ」ことだよ。
- 3 「のぎくん」に「おもい」を書くよ。
- 4 「たんい」の「たん」、「しんちよう」の「しん」と同じ漢字だよ。「たんしん」は一人という意味だよ。
- 5 「すばこ」、「すだつ」も同じ漢字だよ。



おなまえを
いって書いて。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 沖に出て漁をする。
- 2 実験を試みる。
- 3 勉強が順調に進む。
- 4 おしくも敗北した。
- 5 臣下に命じる。

1	
2	
3	
4	
5	

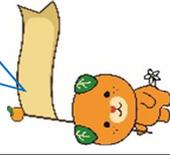
二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 くまでを使って落ち葉を集める。
- 2 体にゆうがいな食品てん加物。
- 3 計画がせいこうする。
- 4 案内状をいんさつする。
- 5 ていくうを飛ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 九州にある「沖繩県」と同じ読みだよ。
- 2 「実」は「じつ」から読み方が変化するよ。つまる音になるよ。
- 3 「順番」、「体調」と同じ読みだよ。
- 4 「勝敗」の「敗」と同じ読みだよ。「北と七星」の「北」がにぎった音だよ。
- 5 「臣下」とは、「王などに仕える人」のことだよ。
- 二 1 「態」とまちがわないでね。
- 2 「ゆうがい」は「がいがある」という意味だよ。
- 3 「せいこう」の反対の意味の言葉は「失敗」だよ。
- 4 「いん」の訓読みは「しるし」、「さつ」の訓読みは「する」だよ。
- 5 「ていくう」とは、「地面に近いそら、ひくいそら」のことだよ。



かなりおぼ
えたね!

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 いつも最前線で働く。
- 2 寒冷な土地で生育する。
- 3 高校球児をおうえんする。
- 4 司法試験を受ける。
- 5 強いチームと対戦する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 人々のちゆうもくを浴びる。
- 2 かがみで自分の顔を見る。
- 3 しずかに耳をすめます。
- 4 ゆりの花のかおりがする。
- 5 買い物にべんりなかごをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「前線」は「秋雨前線」などで使われるよ。
 2 「寒気」、「冷ぞう庫」と同じ読みだよ。 3 「野球」、「児童」と同じ読みだよ。
 4 「司」は「司会」と同じ読みだよ。 5 「戦」は「作戦」と同じ読みだよ。
- 二 1 視線をそぞがれること、人から見られることだよ。
 2 「かがみ」は大昔、金属でできていたから、「かねくん」だよ。
 3 「あお」と「あら(そう)」を組み合わせるよ。あらそうように波立っていた水が、あおくすみわたることを「しずか」というのかな。
 4 「か川県」と同じ漢字だよ。
 5 「べん」の部首は「にんべん」だよ。つくりの左はらいと右はらいは交差するよ。